

隣保館だより

第453号

2024年 3月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



桜咲く

はつぎくら

初桜

さ ま さくら はな
咲いて間もない桜の花

さむ ふゆ こ さ さくら
寒い冬を越え咲く桜

さくら み
桜を見ると

はる あたた かん
春の暖かさを感じる

こころはず こころゆた こころおだ
心弾んで 心豊かに 心穏やかに

つよ い
そして強く生きよう

多様な性について考えてみましょう

性的少数者は、日本にどのくらいいるのでしょうか。見た目では分からず、「周囲にはいない。」「会ったことがない。」という方も多いと思います。しかし、それは気付いていないだけかもしれません。

日本の民間団体の調査によると、当事者層の割合は9.7%であるとの結果が出ています。これは約10人に1人の割合であり、左利きの人や血液型AB型の人とほぼ同じ割合といえます。

LGBTQ+

- L … レズビアン（性自認が女性で、好きになる対象が女性の人）
- G … ゲイ（性自認が男性で、好きになる対象が男性の人）
- B … バイセクシュアル（好きになる対象が男性・女性両方の人）
- T … トランスジェンダー（生まれた時に割り当てられた性別と性自認が異なる人）
- Q … クエスチョニング（性自認や性的指向が決まっていない人・決めたくない人）
- + … プラス（LGBTQ以外にも様々な性の在り方があることを意味する）

…大切なことは…

誰にもそれぞれ性的特徴、性自認、性的指向、性別表現があり、性のあり方は、人の数だけ多様です。自分と違うあり方を否定せず、お互いのあり方を尊重することです。

まずは、言動を意識しましょう

- 異性を好きになるという前提の意識を変えましょう。
「彼氏・彼女」→「恋人・パートナー」に言い換えるなど
- ハラスメントにもつながる言葉はやめましょう。
「女らしくしろ・男らしくしろ」「あの人は男？女？」「ホモ・オカマ・おなべ・レズ」など、偏見や差別、固定観念で相手を傷つけてはいけません。

性の自認や性的指向などで悩んでいませんか？

大分県では、LGBT等の悩みについて、相談をお受けする窓口を設置しました。

大分県公認心理師協会に所属する公認心理師や臨床心理士が、ご本人だけでなく、ご家族や友人等からも相談をお受けします。

相談は無料で、秘密は守られます。安心してご相談ください。匿名での相談も可能です。

●LGBT等に関する相談窓口

専用電話：070-4793-4407

開設日時：毎月第3土曜日の午前10時～12時（相談時間は、お一人様1回最大30分を目安とします）

メールアドレス：madoguchi-oita13710@au.com（回答は相談開設時のみとなります）

大分県水平社の創立から100周年を迎えます。

1922（大正11）年3月3日に全国水平社が創立されてから、各地で水平社創立への動きが見られました。その結果、1923（大正12）年に全九州水平社が創立し、大分県水平社は1924（大正13）年3月30日、別府の劇場豊玉館で700人ほどが集まり創立されました。

大分県水平社創立から100年経った現在も差別的な発言や落書き、インターネット上での人権侵害などの事案が依然として存在しています。部落差別を「自分は関係ない」と無関心にならず、正しく理解し、一人ひとりの行動や意識を見つめなおすことが大切です

ほほえみ教室 ≪人権学習会≫

2月16日（金）に九重町隣保館において、隣保館を利用されているほほえみ教室のみなさんに人権学習会を開催しました。

「幸せに生きる権利」それは「人権」をテーマに大分県人権重要9課題、身近に感じる人権、生きるために必要な人権について学習しました。

「幸せ」になるための力（4つの因子）

※ありがとう ※やってみよう ※なんとかなる ※あなたらしく を通し、「人権」とのつながりや「人権」の大切さを改めて考える時間となりました。



九重町隣保館人権学習会を開催しました

2月21日（水）に九重町隣保館において、「子どもの人権」をテーマに学習会を行いました。今回は、大分県立看護科学大学准教授・九重町教育支援センターほっとスペース教育相談員の吉村匠平さんをお迎えし、『資料から振り返る「こども」の今～ヒト本来の育児スタイル～』と題し講演していただきました。

アロマザリング（父・母・祖父母・地域コミュニティが育児に参加する）という言葉聞き、私たちは人権を尊重し、健やかに成長することを支えたり見守ったりしていきたいと感じる講演でした。



～参加者アンケートより～

- ◆子育ては、子どもの目線でもっと大切に子ども達を見守っていかなくてはならないと思う。多くの人の力を借り、地域で孤立しない子どもを育てていきたい。
- ◆子ども達を取り巻く環境を、データで見ていくことと、ヒトの歴史から考えていくことがとても勉強になりました。親は、自分の子を自分で何とかしなければと思ってしまいますが、まわりのサポートがあれば気持ちも随分軽くなると思います。私にできることもあると思うので、何かサポートしたいと思います。

九重町隣保館運営審議会開催

3月7日（木）に、第2回九重町隣保館運営審議会を開催し、今年度の事業報告等を行いました。また、新年度の活動の方針を審議していただきました。

九重町隣保館は、人権・部落差別問題の速やかな解決をめざすため、地域福祉の向上や人権啓発・住民交流の開かれたコミュニティセンターとして、今年も人権学習会や講演会の開催、相談事業のほか、生け花や編み物などの主催教室やハッスルシルバーズ、隣保館ふれ愛ひろばなどの地域交流事業・地域福祉事業を実施しました。

今年度の取組について評価していただくと同時に、隣保館運営、人権啓発についての貴重なご意見をいただきました。

～ DVD・書籍を購入しました～

九重町隣保館では人権啓発に関連するDVD、書籍、絵本などの貸し出しをしています。家庭や職場で観て、読んで、人権について考えてみませんか。お気軽にお越しください。

DVDのタイトル

- ・大切なひと（※ネット社会における部落差別と人権について考えるお話です）
- ・部落の心を伝えたいシリーズ 番外編 私と部落とハンセン病
- ・おばあちゃんありがとう
（※おばあちゃんをきっかけに、部落差別について家族や周囲の人々と向き合っていくお話です）



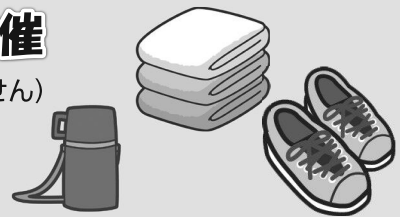
本のタイトル

- ・コミュニティ教育学への招待
- ・部落問題学習の授業ネタ3 アクティブに「あたりまえ」を疑ってみよう
- ・勇気がでてくる人権学習2 差別・被差別・傍観のトライアングル
- ・同和行政がきちんとわかるQ&A
- ・ゆびきりげんまん うめばあちゃんのはなし
- ・聞き取りもうひとつの隔離 ハンセン病療養所付属保育園に収容された子どもたちの人生
- ・戦いと平和のうずまき
- ・「イクメン」を疑え！
- ・福田村事件 関東大震災・知られざる悲劇
- ・人権読本
- ・君たちはどう生きるか
- ・満州分村移民と部落差別 熊本「来民開拓団」の悲劇
- ・海をあげる



隣保館カラフルタイム開催

- 日 時：3月27日（水）9時30分～11時00分（送迎はありません）
 - 場 所：九重町隣保館 2階展示室
 - 参加申込：3月26日（火）締め切り
- ※上履き、飲み物、タオルは各自でご準備下さい



◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名
3月21日(木)	ハッスルシルバース(たけのこ会)
3月27日(水)	カラフルタイム
3月28日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)



月 日	行 事 名
4月1日(月)	編み物教室
4月2日(火)	パワーアップ教室
4月5日(金)	生け花教室
4月11日(木)	ハッスルシルバース(13期生)
4月15日(月)	編み物教室
4月23日(火)	歌声サロン
4月25日(木)	ハッスルシルバース(たけのこ会)